

低カリウムメロンによる地域活性化への取り組み

農林生産学科 教授

浅尾 俊樹

研究成果の概要

島根大学で研究開発している低カリウムメロンを用いて、地域活性化への取り組みを行った。

(春作メロン)

3月初旬および4月初旬に播種し、養液栽培で生産したメロンを7月中旬および下旬に収穫した。培養液中のカリウムの供給停止を開花直後から数週間にわたり行った結果、開花2週後までに停止すると食品成分表値(340mg/100gFW)の約50%にカリウム含量が低下し、糖度も高くなった。また、平成27年度より赤肉メロンでの低カリウム化を試みた。そこで、その低カリウムメロンの活用を図り、玉造温泉の松乃湯および佳翠苑皆美での透析患者さんへのランチ試食会を計画した(それぞれ13組18名、10組17名)。大妻女子大学の女子学生が考案し、両旅館の調理長さんたちがアレンジした会席料理を松江、出雲の透析クリニックの患者さんとその家族、友人と共に召し上がっていただいた。患者さんたちからは感謝の言葉をいただいた。



松乃湯(7月16日)

佳翠苑皆美(8月3日)

(秋作メロン)

7月初旬に播種し、10月中旬に収穫を行った。その結果、開花3週後までに培養液中カリウム供給を停止すると食品成分表値(340mg/100gFW)の約50%にカリウム含量が低下し、糖度も高くなった。その低カリウムメロンの試食会を10月25日(日)に松江市民活動センター(STICビル)で行った。アンケートでは、「普通のメロンと変わらない」「いつ購入できるのか」など、今後の生産、販売への期待が書かれていた。「島根大学で研究開発し、島根で作る、透析患者さんに夢を与えるメロン」を世に出すため、今後も努力を続ける必要があることを再認識した。



11月18日(水)~20日(金)、東京ビッグサイトでアグリビジネス創出フェア(主催:農林水産省)が開催され、国立大学法人島根大学・低カリウムメロンプロジェクトチームとして、「透析患者用低カリウムメロンの開発とその実用化」をテーマに参加した。

社会への貢献・その他

低カリウムメロンの研究開発により、透析患者の食生活向上が図られると共に、このメロンの生産、加工、活用において地元地域活性化に繋がる可能性が明らかになった。

- ・JR西日本(株)米子支社「低カリウムメロン生産に関する研究」(共同研究)
- ・松江三和部品商会(株)「低カリウムメロン生産者用プログラムに関する研究」(共同研究)
- ・「しまね夢メロン」(商標登録申請中、島根大学)
- ・「低カリウムメロン実用化の検討」(松江市スマート農業推進検討委員会提案事項)